日能研生

■ 日能研での学びを定着させたい!

授業定着コース

日能研4年生/日能研5年生/日能研6年生

通室形態

通塾 サイクル ◆1回140分・週1回または 1回70分・週2回

◆演習タイム・演習日をご希望により設定

教 科

国・算・社・理から 1 教科選択

日能研で学習した内容をしっかりと定着 させることを目的としたコースです。授業 のふり返りと演習によって、学習内容の定 着を図ります。通室後は、学習サイクルを 早い段階で確立させ、自ら進んでふり返り ができるようになることを目的とします。

ユリウスの指導者の多くは日能研の卒業 生です。日能研で学んだ先輩たちが、自 分の受験の時の経験も活かしながら皆さ んの合格を全力でバックアップします。



週間の学習サイクル

■ 授業定着コース 小学6年生の例

月	火	水	木	金	±	日
	日能研	指導	日能研			
		指導			日能研	日能研
		演習タイム				

土曜日に日能研で学習した算数を月曜日に自宅で学び直し、水曜日にユリウスで個別指導を受講するサイクルで学習を進め ます。テキストは栄冠への道および強化ツールを使用し、カリキュラムテストで110点をとることを目指しています。演習タ イムの内容は指導者が栄冠への道・強化ツールからそれぞれ出していきますので、自身で丸つけをおこなって帰宅します。

短期集中コース 〈課題解決プラン〉

対象学年 日能研生

通室形態

短期生

通塾 サイクル

◆応相談

教 科

任意

特定の課題について、短期間での解決 を図るプランです。課題解決後は、自 らのペースで「自立学習」ができるよう になることを目的とします。

短期集中コース 〈未習分野フォロープラン〉

日能研生および入室予定の方

通室形態

通塾 サイクル

◆応相談

教 科

日能研への入室に際し、未習分野・単 元のフォローを行うプランです。日能 研の授業をよりスムーズに理解する土 台づくりをしていきます。

短期集中コース 〈入室フォロープラン〉

対象学年 日能研入室予定の方

通室形態 短期生

通塾 サイクル ◆応相談

教 科

日能研入室テストでの合格を目指すプ ランです。基礎学力を習得し、日能研 の入室基準をクリアすることを目的と します。



■ ステージVからの2つの志望校対策

志望校対策コース 〈志望校入試問題演習プラン〉

対象学年 6年生

通室形態 通常生

通塾 サイクル ◆1教科 1回70分・週1回から (1対1での受講が必須です)

教 科 任意

事前に決定したスケジュール(日程・科目等)に基づいて過去問を解き、解いた直後に1対1の指導をおこなうプランです。計画的に過去問を解いていくことで、志望校合格へ近づくことを目的とします。

志望校対策コース 〈志望校頻出分野演習プラン〉

対象学年 日能研6年生

通室形態

通常生

通塾 サイクル

◆1教科 1回70分・週1回から

教 科

任意

概要

日能研プラネットだから提供できるデータ(BT表など)による、志望校の出題傾向分析と成績情報をもとに、課題となる分野の対策をおこなうプランです。志望校の頻出分野と課題となる分野を、入試問題を使って徹底的に演習し強化することを目的とします。

一週間の学習サイクル

■ 志望校対策コース〈志望校入試問題演習プラン〉 小学6年生の例

月	火	水	木	金	±	日
		解答		解答		
		解説		解説		

志望校の過去問題の演習をユリウスにて実施(10月から1月まで)します。

1月末までに終わるよう立てられた計画に沿って過去問を解き、ふり返りのあと 1 対 1 の指導にて解説を受けます。基本的には教室で時間を図って過去問を解きますが、場合によっては家で解くことも。

毎回の指導で課題を発見し、その必要に応じて内容を変更した指導を受けます。

■ 志望校対策コース〈志望校頻出分野演習プラン〉 小学6年生の例

月	火	水	木	金	±	B
				指導		

日能研プラネットとして提供できるデータをもとに、志望校の傾向と現状の自分の成績から立てた学習計画に沿って受講していきます。

演習と解説を繰り返し、課題の発見とフィードバックをする中で、合格力アップを目指していきます。

■ ユリウスの2つの志望校対策

志望校の傾向を知る

過去問演習 解き方から解説まできっちり指導



制限時間内に効率的に点数を獲得していく手法(問題解答の優先順位のつけかた・問題の取捨選択のしかた・ミスを防ぐ方法など)についてレクチャーを受けながら、過去問を解きます。

本番の入試を意識し、臨場感・緊張感をしっかりと持ちながら過去問を解くことが大切です。毎回、入試問題を解く際に必要な心構え・取り組み方をレクチャーしてから問題を解きます。



問題解答後、採点し、正解率や難度を確認します。

人試においては、さまざまな難度の問題が出題され、すべての問題に正解する必要はありません。ここでは、志望校に合格するために「得点しなければいけない問題」をデータに基づいて分析し、解き直しが必要な問題を見つけ出します。



間違えた問題・できなかった問題の解説・類題演習をその場で行います。

合格するために正解しておきたい問題について、納得いくまで解説します。

また、1 問ずつの時間配分から、ミスの原因 (計算間違い・問題の読み間違い・解法の理解度) をふり返り、得点するために必要な方法を指導します。 解説を受けた問題を得点するためには、演習による定着が必要です。ユリウスでは単に同じ問題を解くのではなく、その問題を一問一問「分野別」「難度別」に分析し何万もの問題の中から最適な類題を抽出して、時間が許す限り演習をおこないます。

過去問にチャレンジした後は自らふり返り。問題難度・分野だけでなく、問題量や解く順番を含めたふり返りをおこなうことで、本番で1点でも多く得点できるようになります。もちろん解き方もしっかりレクチャー!

合格に向けて必要な分野別の演習

銀本と個人別BT表を活用した分野別対策



「個人別BT表」から『志望校の入試における頻出分野』を特定します。実際の成績と『志望校の入試における頻出分野』を分析し、志望校対策に必要な分野・難度を割り出します。

ユリウスの志望校過去問演習指導を受けている場合は、過去問演習の中で出て来た課題からも、学習が必要な分野・難度を割り出していきます。



「銀本」の中から、志望校の出題により近い問題 (類題) を多数選出し受験日までの「個人別学習計画」を作成します。

出題頻度の高い分野に課題を抱えている場合には『本科教室』や『強化ツール』等の日能研教材を用いて、その分野の課題解決を優先して取り組む計画を立てます。



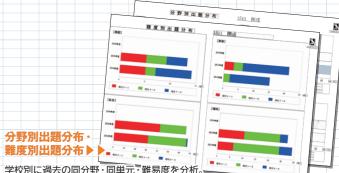
「個人別学習計画」に沿って、類題演習をおこないます。

その場で丸付けをし、間違えた問題は解説をおこないますので、できなかった問題に対しては次々と類題演習をしていき、苦手な分野を克服する足がかりを作っていきます。



学校別・単元別の出題傾向とその単元の難易度傾向の一覧。 年度ごとに出題数も分かります。

「どの単元の」、「どれくらいの難易度」がポイント(合否の分かれ目)かが分かります。



学校別に過去の同分野・同単元・難易度を分析。 一行問題の種類も全て解析済み。これにより、出題傾向と類題を抽出。 実際の答案用紙との比較により、補強すべき単元が見えてきます。